

図書館通信

最上校図書委員会 No.24 2月25日



2022年 本屋大賞 4月6日発表!

どの本が本屋大賞1位になるか、予想してみましょう?

ご卒業おめでとう

3年生を送る会



2月21日(月)12時40分から、図書館司書室で3年生を送る会を行いました。3年では、井上瑠菜さんは委員長、佐藤舞香さんは2年の時副委員長として、委員会を盛り上げてくれました。3年間本当にご苦労様でした。

まだまだ、新型コロナウイルスの治まらない中、図書館での感染対策を考えながら、委員会企画を行うことが出来、後輩にしっかりと仕事の引き継ぎが出来たようです。在校生を代表して、2年の菅利穂さんからは、3年間の慰労と4月から進学、就職する先輩方に激励の言葉が発表され、色紙を渡しました。3年生からは、後輩達への感謝と期待の言葉が発表されました。短い時間ではありましたが、3年生からのバトンをしっかりと継ぎましたようです。



2022年ノミネート作決定!

本屋大賞



『赤と青とエスキース』青山美智子(著)

『正欲』朝井リョウ(著)

『硝子の塔の殺人』知念実希人(著)

『同志少女よ敵を撃て』逢坂冬馬(著)

『黒牢城』米澤穂信(著)

『星を掬う』町田そのこ(著)

『残月記』小田雅久仁(著)

『夜が明ける』西加奈子(著)

『スモールワールズ』一穂ミチ(著)

『六人の嘘つきな大学生』朝倉秋成(著)



朝読書の4原則

第三回 朝読書が始まります!

期間 3月2日(水)~3月9日(水)

時間 8時20分~8時30分(10分間)

※朝読書記録カードに、記入しましょう。

※雑誌やマンガ以外、読みましょう。

※本は前もって準備しておきましょう。

みんなでやる
毎日やる
好きな本でよい
ただ読むだけ

朝読書にオススメの新刊!



「ミカエルの鼓動」 柚月裕子著

この者は、神か、悪魔か?医療の在り方、命の意味を問う感動作。大学病院で、手術支援ロボット「ミカエル」を推進する心臓外科医西條。そこへ、ドイツ帰りの天才医師・真木が現れ、西條の目の前で「ミカエル」を用いない手術を、とてつもない速さで完遂する。あるとき、難病の少年の治療方針をめぐる、二人は対立。天才心臓外科医の正義と葛藤を描く。

「倒産続きの彼女」 新川帆立著

倒産の危機に瀕した会社を救うべく、ある女性の疑惑について調査をめぐらされた女性弁護士・美馬玉子。嫌々ながらも、高飛車だが敏腕の先輩弁護士・剣持麗子とコンビを組み、真相に迫ろうとするが、調査が進むうち関係者の死体が発見されて?



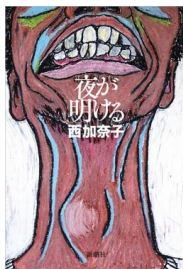
「砂に埋もれる犬」 桐野夏生著

貧困と虐待の連鎖。ネグレクトによって家族からの愛を受けぬまま思春期を迎えた少年の魂は、どこへ向かうのか。

その乾いた心の在りようを物語に昇華させた傑作長編小説。

「星を掬う」 町田そのこ著

千鶴が夫から逃げるために向かった「さざめきハイツ」には、自分を捨てた母・聖子がいた。他の同居人は、娘に捨てられた彩子と、聖子を「母」と呼び慕う恵真。四人の共同生活は、思わぬ気づきと変化を迎える。



「夜が明ける」 西加奈子著

思春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる奇跡。まだ光は見えない。それでも僕たちは、夜明けを求めて歩き出す。どれだけ傷ついても、夜が深くても、必ず明日はやって来る。

「むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。」 日本昔ばなし×本格ミステリふたたび! 今回収録されたのは、「かぐや姫」「おむすびころころ」「わらしべ長者」「さるかに合戦」「ぶんぶく茶釜」の5編。果たしてこれらの昔ばなしがどんなミステリになったのか。各作品を通してのテーマが隠されている短編集です。

青柳碧人著



「闇祓」 辻村深月著

あいつらが来ると、人が死ぬ。うちのクラスの転校生は何かがおかしい。クラスになじめない転校生、要に、親切に接する委員長、凛。しかし、そんな彼女に要は不審な態度で迫る。身近にある名前を持たない悪意が増殖し、迫ってくる。

「N」 道尾秀介著

すべての始まりは何だったのか。結末はいったいどこにあるのか?読む順番で、世界が変わる。あなた自身がつくる720通りの物語。



「恐ガラセ屋サン」 澤村伊智著

恐怖をナメた者たちに、一瞬の恐怖なんて生ぬるい! 気づいたときは、あとの祭り。怖がらなかったことを、後悔させてあげる。一話ごとに『まさか!』の戦慄が走る、連作短編集。



「赤と青とエスキース」 青山美智子著

1枚の「絵画(エスキース)」をめぐる、5つの「愛」の物語。彼らの想いが繋がる時、奇跡のような真実が現れる。



「笑うマトリョーシカ」 早見和真著

親しい人だけでなく、この国さえも操ろうとした、愚か者がいた。青年の「友情と裏切り」の物語。

「残月記」 小田雅久仁著

月をモチーフに、底知れぬ想像力が構築した異世界。足を踏み入れたら最後、イメージの渦に呑み込まれ、もう現実には戻れない。



「特許やぶりの女王 弁理士 大鳳未来」 南原詠著 特許権侵害を警告された人気VTuberを救うべく、特許の専門家・弁理士の豪腕が炸裂する! 魅力的な新ヒロイン登場!

